

行事予定

【菊舎顕彰会総会】

期日 五月六日(月・祝) 十三時三十分より
場所 下関市豊北町 田耕促進センター

【企画展 菊舎・東海道五十余駅画賛今昔】

期日 六月七日(金) ～ 六月十六日(日)
午前九時～十六時三十分
(初日十三時から、最終日十五時まで)
場所 長府庭園 三の蔵

【一日会員研修・長府】

期日 六月九日(日)
行先 市立美術館～長府庭園～市立歴史博物館

【菊舎顕彰俳句大会】

期日 十月二十日(日) 十三時より
場所 下関市豊北町 田耕促進センター

伝言板

※本年六月七日(金)より、下関市立美術館と下関市立歴史博物館において、共同企画展「菊舎 旅と友を愛したひと」が開催されます。美術館は「旅編」として、七月十五日(月・祝)まで、歴史博物館は「ふるさと編」として、七月二十一日(日)までが会期となっています。なお、六月三十日(日)午後には、菊舎顕彰会も協力し、市内小学生の俳句相撲大会・美術館場所が開催されます。皆さまお誘いあわせの上、ご覧ください。

※昨年太翔館にて開催しました「田上菊舎生誕二百七十年記念企画展」の図録を制作します。一般販売の予定はありませんが、新年度二口以上の顕彰会費をご協力頂ける希望者全員に、贈呈いたします。詳細は入会用紙をご確認ください。



市役所4階展示コーナー



企画展「旅の尼・田上菊舎」展示説明

【編集後記】

長く続いたコロナ禍も、昨年の五類移行をもって元の生活に戻りつつあり、菊舎顕彰会においても、徐々に行事を再開しているところです。これからも皆さまのご支援を頂きながらさまざまな文化活動を行ってまいりたいと思っております。皆さまのお力添えを切にお願い致します。

(裕)



第24号

令和6年3月
発行
菊舎顕彰会
〒759-5512
下関市豊北町田耕
電話 083-782-1475
FAX 同上
E-mail
info@kikusha.com



通仙亭
煎茶の祖・売茶翁像

生誕二百七十年の節目を終えて

会長 古川 裕三

会長に就任し、あつという間に一年を迎えようとしています。この間、行き届かぬこともあったかと存じますが、会員の皆さまの温かいご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

令和五年は田上菊舎生誕二百七十年にあたり、豊北歴史民俗資料館(太翔館)と共催し、田上菊舎展を開催しました。また、念願の『田上菊舎和歌集』と『田上菊舎年譜集成』の出版もできました。十月の菊舎顕彰俳句大会は、企画展の観覧を兼ね、豊北体育センターで行いました。そして、十一月の会員研修はコロナ禍で延期していた佐賀の地を会員さんとめぐり楽しい時間を過ごしました。今年も理事の皆さんと話し合い、様々な行事を企画しています。六月は市内在住の菊舎顕彰会の方の菊舎コレクションが展示される企画展が、下関市立美術館と市立歴史博物館において、同時開催されます。またとない機会ですので、遠方の会員さんにもご観覧いただきたく、九日の第二日曜を会員研修といたします。今からご予約を立てておいてください。どうぞお楽しみに・・・。

最後に、昨年六月、水野純次理事がお亡くなりになりました。長きにわたり菊舎顕彰会を熱心に支えていただいております。一昨年の企画展において製作上演された「菊舎の長崎ぶらぶら旅」の講談後の笑顔を忘れることが出来ません。有難うございました。

会員研修 俳句で綴る佐賀の旅

内田 恒生

令和五年十一月七日(火) 快晴
七時二十分、滝部を出発。田耕では岡顧問に見送られ、小月駅で全員揃う。

秋うらら空席のなきバス旅行 (恒生)

十時四十分、肥前通仙亭到着。

お茶立て、茶葉も頂く小春かな (勝代)

小春日や通仙亭の茶葉を食む (ユキ子)

佐賀の秋煎茶飲み知る売茶翁 (恵子)

若沖の描く翁や秋日和 (佳子)

昼前、旧長崎街道をガイドさんと歩く。

冬麗や大股に行く思案橋 (若代)

続いて、長徳寺の残夢塚(芭蕉)を見学。

山門に入りて小春の残夢塚 (裕三)

芭蕉碑にぬかずくように草紅葉 (洋子)

おいしかったランチの後、超高級品、鍋島緞通で目の保養。そして、

旅の締め隔林亭の栗干菓子 (信子)

肥前の旅ようかんボーロ売茶の香 (淑子)



長徳寺 残夢塚前で集合

二十四人全員の句を紹介できず、お詫びします。

令和4年度菊舎顕彰会収支決算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

収入の部

項目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越	95,957	95,957	0	
会費	450,000	405,000	▲45,000	191人・405口
事業収入	95,000	129,670	34,670	『菊舎のおはなし』・図録他
貯金利息	2	1	▲1	
助成金	20,000	20,000	0	田耕振興協議会(20,000円)
雑収入	4,041	12,095	8,054	寄付・俳句授業手当
合計	665,000	662,723	▲2,277	

支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	20,000	26,428	6,428	理事会部屋借料・茶菓子他
事業費	450,000	502,844	52,844	『菊舎のおはなし』増刷費 版画絵葉書制作費他
研修費	20,000	0	▲20,000	
研究費	20,000	10,000	▲10,000	書籍管理費
事務通信費	130,000	56,467	▲73,533	送料・印刷・事務用品他
交際費	20,000	20,810	810	慶弔費
雑費	5,000	0	▲5,000	
次年度繰越	0	46,174	46,174	
合計	665,000	662,723	▲2,277	

令和5年度活動報告

- 4月1日 会計監査(前会長宅)
 - 5月7日 菊舎顕彰会総会・理事会(田耕促進センター)
 - 5月11日 町文化協会総会(豊北支所)
 - 6月9日 ~ 6月19日
企画展「句と絵が響き合う菊舎展」(長府庭園)
 - 6月13日 歴史講座 会長出講(長府庭園)
 - 8月19日 理事会(田耕促進センター)
 - 8月20日 夏の市民フェスタ 俳句コンテスト開催(菊川ふれあい会館アブニール)
 - 8月23日 『田上菊舎年譜集成』『田上菊舎和歌集』刊行
 - 9月30日 理事会(田耕促進センター)
 - 9月5日 ~ 11月5日
田上菊舎生誕270年記念企画展「旅の尼・田上菊舎」(太翔館)
 - 10月15日 菊舎顕彰俳句大会(豊北体育センター)
 - 11月7日 会員一日研修(佐賀)
 - 1月18日 新春俳句相撲大会(太翔館) 豊北小学校5年生参加
 - 1月20日 理事会(田耕促進センター)
 - 3月17日 理事会(田耕促進センター)
- ※その他 出版準備。企画展打ち合わせと準備。俳句月例会など省略。

私と菊舎との出会い

岡山大学院生

李 夢幻

二〇二三年の「田上菊舎生誕270年記念展」で五年ぶりに岡昌子先生にお目にかかれて大変嬉しく存じます。その日、岡先生の解説を聞きながら、菊舎の真跡を見ることができ、いい思い出になりました。今回報投稿の依頼を頂いて大変恐縮ですが、「私と菊舎との出会いの経緯」と「私の今までの研究内容」をめぐって簡単に書かせて頂きたいと思っております。

私の専門は日本文学です。もともと韻文が好きなので、修論のテーマを考えていた際、自然に俳諧を選びました。特に女流俳人の句の方がいいと思って、『江戸女流文学の発見』という本で菊舎の名前を初めて見ました。それから、ネットで色々調べてみましたが、「天地に自在たりく尼僧俳人・田上菊舎」というドキュメンタリーにおいて、岡先生と中川真昭氏との対談に出た「なぐれ寄るものはつして柳かな」という句に感動しました。さらに、菊舎の旅での人生、自由奔放で、真に人生を楽しむ生き方に魅了されました。

大学の図書館に『田上菊舎全集』があつて、下巻における刊本『手折菊』において漢詩と発句を並べて詠んだ作品群があり、漢詩も作れる人とは予想外でサプライズでした。この経緯で田上菊舎の作品について論文を書いてみようと思つて決めました。

今までは主に菊舎の漢詩の受容および菊舎の詩諧における漢詩と俳諧の関係を研究してきました。

研究の中で岡先生、真鍋聡さんをはじめとする菊舎顕彰会の方々にも大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

(菊舎顕彰会会員)

新春俳句相撲大会

恒例の新春俳句相撲大会が、一月十八日に太翔館で行われました。豊北小学校五年生三十五名が、豊北町にちなむ四股名をつけた八つの班に分かれ、俳句相撲で横綱をめざします。取組表に従って俳句で勝負。みんなが上げた東西の団扇の数の多い方が勝ち上がっていくトーナメント方式です。行司役の会長が「見合って、見合って。ハツケヨイノコッタ」と軍配を上げ勝者が決定します。結果は次の通りです。

- 横綱 土井ケ浜 「すごろくや家族で遊ぶもりあがる」
- 準優勝 敢闘賞 鬼の岩 「かめ山のかいだんのぼる初日の出」
- 殊勲賞 河豚の海 「初日の出雨雲かぶり見えぬ朝」
- 技能賞 梨の山 「初日の出まぶしい朝にあいさつす」
- 一字庵賞(個人の部) 「妹の寝顔見るなり初笑い」 今西 栞

後日、豊北小学校五年生全員から顕彰会宛にお礼の手紙が届きました。一部を紹介します。

- ・俳句のことが知れて楽しかったです。帰ってさっそく俳句を作りました。また俳句ずもうがしたいです。
- ・ぼくは、俳句にあまり興味がなかったけど初めて俳句ずもうを試してみたら「とても俳句って楽しいんだなあ」と思いました。
- ・俳句手帳をもらったので、その手帳にたくさん俳句を書きたいです。五七五のリズムで書くのは、むずかしいけど、がんばりたいです。

